



星生小学校

第3号

学校運営協議会だより

発行：令和7年12月22日

師走を迎え、小学校では2学期が終わり冬休みが始まります。今年も子どもたちの教育にご支援いただき、ありがとうございました。子どもたちは1月7日まで、家庭や地域で過ごしますので、子どもたちの見守りをよろしくお願ひいたします。

寒さが厳しくなりますが、皆さんもお元気で年末年始をお過ごしください。



【図書室掲示】

12月8日 第3回学校運営協議会を開催

今回は、2学期の子どもたちの様子、小規模特認校制度の取組状況、児童・保護者アンケートの結果、いじめ防止・人権教育の取組などの項目について協議を行いました。

2学期の子どもたちの様子

1年生：国語では、「くじらぐも」の音読劇に取り組んだ。2年生の音読劇を見る機会をもらい、自分たちも役になりきって一生懸命取り組むことができた。お互いによかった所やもっとこうしたらしいと思うという意見を話し合うことができるようになってきた。算数では、理由を大切にしながら学習している。

2・3年生：算数の授業では、3年生は1人ひとりホワイトボードに自分の考えを書き、発表しあっていて、「とも学び」が定着してきた。2年生は九九を覚えたり、かけ算の解き方を教えあったりしながら取り組んでいる。国語では、3年生は「ちいちゃんのかげおくり」から戦争や平和に関する本をほかの学年に読み聞かせに行ったり、職業やことわざなどの調べ学習や発表に取り組んだ。2年生もお互いの考え方や意見を聞きあうことに重点をおきながら取り組んでいる。

4・5年生：算数のわたり授業を中心に、「自分たちで学習しあう」習慣が定着しており、落ち着いて学習に取り組めている。総合的な学習では、キャリア教育について、6年生と一緒に各グループの会社で、意欲的に取り組んでいる。また、体育では5・6年で授業をしているが、5年生がより活動的に、バスケットボールやハンドル・高跳びなど取り組んでいた。

6年生：算数では、今までの学習が生かされるようなまとめの単元もあり、いよいよ小学校のまとめという様子で授業を進めている。また、社会では、修学旅行へ行ったので、東大寺・銀閣・金閣・二条城など、歴史に出てくる寺院や城を見学したことがとても印象に残っているようで、社会の学習に意欲的になっている。

☆ 下校時など地域の人や自転車のエイチワン従業員の人へもあいさつをするなどの姿がみられる。地域の人にも、子どもたち同志もお互いに気遣いの姿が見られるなどの意見が出されました。

小規模特認校制度の取組状況

取組状況について、11月に市教育委員会に「小規模特認校制度の導入に関する要望」を提出したこと。これを受け、市教育委員会では12月に開催される教育委員会で審議される予定であることが報告されました。

- ☆ 学校運営協議会の活動目標のひとつ「小規模特認校制度」は、来年4月から昼生 小学校が導入することになるので、ぜひ選ばれる小学校にしていこうと改めて確認 をしました。

児童・保護者アンケートの結果

・・・主な意見・・・

【家の宿題以外の学習】

昨年より減少数値だが、数値変化も絶対数が少ないことが要因ではないか。

【学校生活が楽しい】

高い数値で子どもたちが学校が楽しいと感じることはよいこと。

【たて割り班の活動】

高い数値で子どもたちみんなが兄弟姉妹のような取り組みで、普段からのつながりが あって、自然と上下関係もできていてすばらしい。

【早寝早起き】

なぜ早寝早起きが大事なのか、子どもたちにも指導していくとともに、保護者にも積極的な情報発信をしていく必要があるのではないか。

【地域の行事参加】

昨年より減少数値だが、まち協のイベントに子どもの参加延べ人数は多い、今後もまち 協と連携していってほしい。

【指導方法を工夫したわかりやすい授業】

今年度から先生主導の授業づくりから子どもたちが主体的に授業参加するスタイルに なった。特に5年生では学習リーダーもできていて、子どもたち主体の授業づくりが行わ れていることはすばらしいことなので、ぜひ保護者に情報発信を行っていってほしい。

いじめ防止・人権教育の取組

・・・主な意見・・・

- ・11月は「いじめ防止月間」、「ピンクシャツデー」、12月に「人権集会」など行われ、丁寧に取り組んでもらっている。
- ・地域の方の見守りも引き続きお願いしたい。
- ・相手の気持ちになって行動ができる思いやりのある子どもたちになってほしい。



たて割り班で意見交流を行った人権集会